

令和4年度 長小だより

夏休み号

かなね

長久手市立長久手小学校

校長 森田 浩 暮

校 訓：明るく 強く 正しく

学校教育目標：夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子



こころのスイッチをいれる!!



「ミーン、ミーン、ミーン」。校庭にある木々では、本格的な夏の到来を告げるかのようにセミが鳴いています。早いもので、本日、1学期の終業式を無事に迎えることができました。4月に入学した1年生は小学校生活にも慣れ、初めての学習や様々な行事を満喫したことでしょう。また、2年生から6年生はそれぞれの学年で、与えられた役割を立派に果たして、「さすが長小の子」と言えるステキな活躍がたくさん見られました。コロナ禍での4か月間でしたが、中止していたリコーダーの演奏や調理実習など、徐々に再開することができ、通常の教育活動を行うことができつつあります。子どもたち一人一人が充実した1学期を過ごすことができましたのも、保護者の皆様のお陰であり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、いよいよ明日から夏休みに入ります。夏休みは、「学校を離れ、家庭や地域で学ぶ期間」です。夏休みは約40日間ですが、時間的に余裕のある夏休みだからこそ、子どもたちには何か継続的に挑戦できることを決め、「最後までやり切った」という達成感を味わってもらいたいと思います。昨年度に引き続き、今年度の夏休みも新型コロナウイルスに感染しないように気をつけて過ごさなければなりません。そのような中でも、自主的にできることを考え、挑戦してほしいと思います。

元小学校の校長であった東井義雄先生は「こころのスイッチ」という詩で次のように述べています。

こころのスイッチ

人間の目は ふしぎな目

見ようという心がなかったら 見ている 見えない

人間の耳は ふしぎな耳

聞こうという心がなかったら 聞いている 聞こえない

頭もそうだ

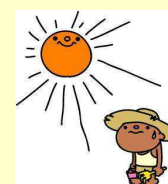
はじめからよい頭 悪い頭の区別があるのではないようだ

「よし、やるぞ!」と こころのスイッチがはいると

頭も すばらしい はたらきを しはじめる

こころのスイッチが 人間をつまらなくもし すばらしくもしていく

電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように



東井 義雄 著 『自分を育てるのは自分』より

長い夏休みの期間中、こころのスイッチをいれて、何かに向かって挑戦してほしいと思います。継続して頑張ることで、充実した自分に出会い、自分に自信がもてます。ご家庭でも、どうぞお力添えをお願いいたします。